



12月3日、10日に村内幼小学校で学習発表会が行われました。

喜瀬武原校では、3・4年生が総合的な学習で学んだ「高齢者福祉を考える」を劇にし、高齢に伴う機能の低下（動きにくさ、見えにくさ、聞こえにくさなど）を疑似体験することで感じたことや認知症の理解と自分にできることなどを発表しました。

恩納校では、毎年5・6年生全員で演じる英語劇「美女と野獣」を披露しました。子どもたちが一生懸命に練習した劇や演奏を披露すると保護者や来賓からは大きな拍手がありました。



★長年の民生委員・児童委員活動の功績に感謝★

平成29年11月2日、東京メルパルクホールにて「全国社会福祉大会」が行われ、昭和61年から名嘉真地区の民生委員・児童委員として活動されている長堂タツ子氏が社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を授与されました。

表彰を受けた長堂氏は1月9日、長浜村長を訪問し、「サポートしてくださる皆さんのおかげでここまで続けてくることができました。残された任期まで少しでもお役に立てるよう頑張ります」と笑顔で報告しました。長浜村長は「日々の民生委員・児童委員の皆さんの活動には心から感謝しています。この表彰はこれまでの努力、功績が特に顕著であると認められたものです。今後とも地域のリーダーとしてまた、良き先輩として若い方々へのご指導をおねがいします」と喜びの言葉を述べました。



恩納100むらのきおく その八十八



戦後の知恵と技術

戦後の物がない時代に戦闘機や別のモノに使用されていた金属を再利用して生活用品が作られました。この写真のモノは、ジュラルミンという金属を用いて作られたお椀です。知恵や技術を用いて作られた製品です。陶磁器などのお椀にそっくりなほど精巧に作られています。知恵と工夫と技術でいろんなものを作っていたことが伺えます。博物館第3展示室の戦争関係展示にてご覧いただけます。